

2017年7月号

7月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 250



燃える夏と萌える草花…

例年、鶴居村で気温が30℃を超える日は年に2、3日程度。ところが今年は、7月に入って晴天が続き、すでに30℃超えは7日目を数えます。昨年同時期の悪天続きの日が嘘のようです。

一方、植物は今年の鬱憤を晴らすかのように花が旺盛に咲き誇り、湿原を彩っています。釧路湿原はこれから盛夏を迎えます。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【カキツバタ】
アヤメ科 杜若
「何れ菖蒲か杜若」ということわざがあるように、美しいものの代表に例えられる花です。青紫の群落も今年も湿原を彩りました。



【ドクゼリ】
セリ科 毒芹
少しかわいそうな名前が付いていますが、花としてはとても綺麗な植物。とはいえ確かに毒性は強いので頭には入れておきましょう。



【タヌキモ】
タヌキモ科 狸藻
昨年は悪天候のためか、ほとんど花が咲かなかったタヌキモ。今年は無事、ヨシ・スゲ湿原の水辺に咲き誇りました。



【クロバナロウゲ】
バラ科 黒花狼花
これも昨年なかなか見られなかった花で、今年はこれから見頃を迎えます。花弁に対して非常に長いがく片が特徴的です。



【エソノカワチシャ】
オオバコ科 蝦夷川萵苣
一つ一つは可憐な花ですが、鶴居軌道沿いの湧き水に見事な群落を作りました。名前は川辺に生えるチシャ(レタス)の意味。



【ヤマキマダラヒカゲ】
アゲハ科 山黄斑日陰
鶴居軌道などで見かけます。複雑な翅の模様が目を引きまます。このほか、温根内周辺ではトンボなどの昆虫がたくさん見られます。

○表紙の写真 上:カキツバタの群落 中右:コクワ(サルナシ)の花 中左:エソノカワチシャの群落 下:トキノウ

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

温根内の野鳥は子育て真っ盛り。森や茂みの中ではひな鳥の聲が聞こえ、餌をねだって親鳥の後ろを追いかける幼鳥の姿も見られます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出しております。熱中症に気を付けてバードウォッチをお楽しみください。



【キビタキ】 夏鳥
ヒタキ科 黄鶺鴒
胸と眉斑の鮮やかな黄色が特徴です。春から丘陵側の林の奥で毎日のように、か細く綺麗な囀りを聞かせてくれています。



【シマセンニュウ】 夏鳥
センニュウ科 島仙入
独特な声で囀るので存在にはすぐ気づきますがなかなか姿を見つけられません。「ウユウユウユ…」と囀りの最後につくのが特徴です。



【ノビタキ (幼鳥)】 夏鳥
ヒタキ科 野鶺鴒
ハンノキの枝先で、親に餌をねだっている姿を見かけます。時折木道近くにも出てきますが、そっと見守ってあげてください。



【エナガ (幼鳥)】 留鳥
エナガ科 柄長
無事に巣立った幼鳥が親鳥たちと群れをなしていました。幼鳥は顔が黒いのが特徴で、名前の由来である長い尾は幼鳥でも立派です。

○温根内探勝木道周辺で観察された花 (6月15日～7月14日) ※和名は五十音順

■アカネムグラ■アキカラマツ■イケマ■イチゲフウロ■イヌタデ■イワノガリヤス■ウマノミツバ■エゾイヌゴマ■エゾイラクサ■エゾオオヤマハコベ■エゾカラマツ■エゾカンソウ■エゾタチカタバミ■エゾノカワヂシャ■エゾノクサイチゴ■エゾノシモツケソウ■エゾノヨロイグサ■エゾノレンリソウ■エゾミヤコザサ■エゾムグラ■エンコウソウ■オオアマドコロ■オオアワガエリ■オオイヌタデ■オオイヌノフグリ■オオカサモチ■オオダイコンソウ■オオツリバナ■オオバコ■オオバタネツケバナ■オオハナウド■オオヤマフスマ■オニグルミ■オニノヤガラ■カキツバタ■カラコギカエデ■カラフトイソツツジ■カラフトノダイオウ■キクムグラ■キツネノボタン■キツリフネ■ギョウジャニンニク■クサフジ■クサヨシ■クリイロスゲ■クロバナロウゲ■ゴキツル■コクワ■コケイラン■コシカギク■コタヌキモ■コツマトリソウ■コハコベ■コメツブツメクサ■コンロンソウ■サギスゲ■シオガマギク■シコタンキンポウゲ■シナノキ■シラオイハコベ■シロツメクサ■シロバナエゾノタチツボスミレ■スカシタゴボウ■スズメノカタビラ■スズメノヤリ■スズラン■セイヨウタンポポ■タチイヌノフグリ■タヌキモ■チシマアザミ■チシマガリヤス■ツメクサ■ツリバナ■ツリフネソウ■ツルアジサイ■ツルウメモドキ■ツルコケモモ■トウマゼリ■トキソウ■ドクゼリ■ナガバツメクサ■ナズナ■ナンバンハコベ■ネムロブシダマ■ノハラムラサキ■バイケイソウ■ハシドイ■ハナタネツケバナ■ハンゴンソウ■ヒトフサニワゼキショウ■ヒメカイウ■ヒメジョオン■ヒメスイバ■ヒロハヒルガオ■ホザキシモツケ■ホソバアカバナ■ホソバイラクサ■ホソバノヨツバムグラ■ホロムイソウ■マムシグサ■マユミ■ミズナラ■ミソガワソウ■ミソソバ■ミツガシワ■ミツバウツギ■ミツバツチグリ■ミツバフウロ■ミミナグサ■ミヤマザクラ■ミヤママタタビ■ムラサキツメクサ■モウセンゴケ■ヤナギトラノオ■ヤマグワ■ヤマハタザオ■ヤマブキショウマ■ユキザサ

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥 (6月15日～7月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順

■マガモ■キジバト■アオバト■オオヨシゴイ■アオサギ■タンチョウ■クイナ■ツツドリ■カッコウ■オオジシギ■トビ■アリスイ■コゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■シジュウカラ■ショウドウツバメ■ヒヨドリ■ウグイス■エナガ■エゾムシクイ■センダイムシクイ■ゴジュウカラ■マキノセンニュウ■シマセンニュウ■エゾセンニュウ■コヨシキリ■キバシリ■ノゴマ■ノビタキ■コサメビタキ■キビタキ■オオルリ■ニューナイスズメ■ハクセキレイ■ピンズイ■カワラヒワ■ベニマシコ■アオジ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆自然ふれあい行事が開催されました☆☆☆☆



○「夏の花を見に行こう」7月2日 参加者：15名
 長年釧路湿原の植物を研究している大西英一氏を講師にお迎えし、夏の花々を観察する会を行いました。見頃を迎えたカキツバタの花被や花弁、雄しべ雌しべの仕組みをわかりやすく解説していただいたほか、タヌキモの捕虫囊を観察し、その巧みな仕組みには参加者は皆、驚いた様子でした。見ていて美しいだけではなく、それぞれの植物が子孫を残すため様々な工夫を凝らしていることを改めて知ることができた観察会となりました。

☆☆☆☆☆イベントのご案内（8月）☆☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター⇒ お申し込み ☎ 0154-65-2323

日	月	火	水	木	金	土
		1 臨時開館	2	3	4	5
6 ♪盛夏の花を見に行こう	7	8 臨時開館	9	10	11	12
13 ♪ザリガニウォッチング	14	15 臨時開館	16	17	18	19 ♪PVスポットガイド
20	21	22 臨時開館	23	24	25	26
27	28	29 臨時開館	30	31		

- ♪ 8/6(日) 盛夏の花を見に行こう：10:00～12:00 (定員15名、要申込み)
- ♪ 8/13(日) ザリガニウォッチング～ウチダザリガニ編～：10:00～12:00 (定員15名、要申込み)
- ♪ 8/19(土) PVスポットガイド：9:00～13:00 釧路湿原のパークボランティア(PV)の方々が、木道上的見どころのあるスポットでガイドをしてくれます。(申込み不要)

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎ 015-487-3003

♪ 釧路湿原 自然と歴史を訪ねて

〔日時〕 8月12日(土) 10:00～12:00 〔定員〕 10名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕 無料

〔場所〕 塘路湖エコミュージアムセンター

～熱中症にご注意を！～

ここ数日、例年になく暑い日が続いています。温根内木道沿いには日陰になるような場所がないので、熱中症対策は万全にしてお越しください。



月刊 温根内通信 No.250

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～17:00 (3月～11月は16:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料